

公益社団法人日本技術士会 CPD行事実施報告書

| | | |
|------|--|--------|
| 開始日時 | 平成28年2月26日(金) | 13時00分 |
| 終了日時 | 平成28年2月26日(金) | 17時00分 |
| 名称 | 第33回CPD講演会・見学会 | |
| 主催者 | 公益社団法人日本技術士会 千葉県支部 | |
| 開催場所 | (株)東芝 京浜事業所 タービン工場 (神奈川県横浜市鶴見区末広町1-9) | |
| 行事内容 | 「トヨタ生産方式」の講演と同方式を活用中の工場見学 ① トヨタ生産方式講演(DVD放映・質疑応答含み) 太田伸一郎氏 (アクティブビジネス代表取締役) ② 工場概要及び改善活動の説明 ③ 工場見学 ④ 質疑応答 | |
| 参加人数 | 33名(内 企業 5名) | |

第33回CPDは、トヨタ生産方式を適用し、成果を挙げている企業の工場見学と、同工場の活動を指導されている方の講演を行った。

昨今、グローバル化の進展に伴い、国内製造業においても更なる業務改革と生産性向上が求められている。その代表としてトヨタ生産方式が注目を浴びており、巷では盛んに取りざたされている「トヨタ生産方式」であるが、その真の姿、本質をここで改めて見る良い機会を得た。

東芝は、発電機器のトップメーカーとして、わが国はもとより世界的にも時代を画する新製品、記録製品を数多く生み出している。火力発電の分野においても大容量・コンパクト化、高効率化、超々臨界圧等常に技術の限界に挑戦し続け、最高の品質、信頼性を追及し、国内外の電力安定供給の貢献している。京浜事業所はエネルギー機器事業の中核工場として蒸気タービン、タービン発電機、水車等の開発、製造を行っている。今回、蒸気タービンの製造工場の見学を行った。

講演ではトヨタ方式について分かりやすく説明いただいた。自動化(人ベン)の働とジャストインタイムの2本柱は先代、豊田佐吉の時代から不変。トヨタ方式を導入した現場は整頓され、重機械としては抜群にきれい。ムラ、ムリ、ムダを最小限と言っていることを見事に現場で実現しているようだ。

